

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

動労千葉 3・14～16ストを貫徹

25反戦春闘勝利！ 3月ダイ改阻止！ 鴨川派出廃止阻止！ 久留里線廃線計画撤廃！ 千葉機関区廃止・派出化粉碎！

動労千葉は3月14～16日(15日明けまで)のストライキを貫徹しました。

ストの意義と課題

15日のスト決起集会では、渡辺書記長がストライキの意義と課題を訴えました。何より、新幹線分離に見られるようにJRの安全崩壊が進んでいます。その原因は外注化と要員削減、融合化施策などによってもたらされています。こうした攻撃と対決するストとして訴えられました。さらに久留里線の廃線計画撤廃に向け、久留里線と地域を守る会など沿線住民と

もに闘うこと、鴨川派出廃止、JR貨物による千葉機関区廃止⇨派出化攻撃を許さず闘う決意を訴えました。

多くの注目とJRへ怒りの声

同日に動労千葉を支援する会が行った千葉駅でのスト連帯街宣行動では、用意した300枚のビラがあつという間に無くなるなど大きな注目を集めました。

街頭からは、「久留里線がなくなるんですか」「残さないといけない」と声をかけてくれる方が多くいました。また、JR東に対して怒りを持って、「利用しにくくして乗客が減り、さらに列車を減らす悪循環だ」「喜勢社長こそ『余剰人員』だ」「鉄道会社なのに、他のことにはばかり関心がいつている」と語る方もいました。

動労千葉と共に声あげよう

会社の施策を止める力は現場からの怒りの声と団結した闘いにあります。ストに立ち上がった動労千葉とともに、職場から声をあげ、闘おう。



(上) 15日昼、千葉支社前で抗議行動
(下) 14日早朝、幕張車両センター前でスト突入行動